

一般社団法人 巨樹の会

松戸リハビリテーション病院 広報誌

まっぼくッ

Spring
2014

Vol.1

創刊特別号



Contents

- 2-3P 開院式典・内覧会
- 4-5P 各部署紹介
- 6-7P リハビリテーションスケジュール
- 8P 医療連携室、HP紹介、アクセス

平成26年
4月1日
開院

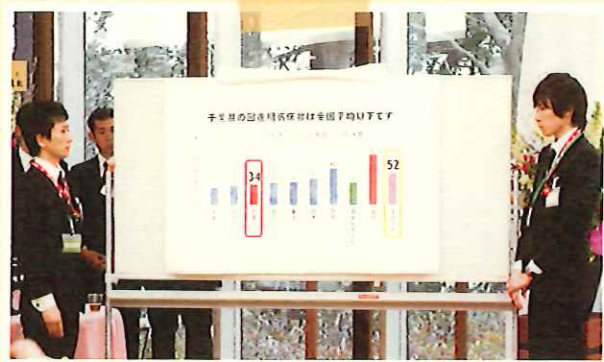
開院式典・内覧会を

開院 松戸リハビリテーション



蒲池巨樹の会会長によるあいさつ

式典参加者のみなさまも、主催者やご来賓のあいさつに耳を傾けました。



千葉県の回復期リハビリテーションの病床数について説明しています。千葉県では、10万人あたり34床で、全国で3番目に少ない県となっています。

開院に先立ち、3月27日から29日にかけて開院式典と内覧会を開催し、3日間で約1200名の皆様にご来院賜りました。開院式典（27日）はあいにくの曇り空でしたが、本郷谷健次松戸市長をはじめ市・県議会議員の方々、また医療・福祉関係の方々、医療従事者をめざす学生の方々、近隣地域の住民の方々まで、多数の方にご臨席賜りました。まず巨樹の会を代表して蒲池会長、鶴崎理事長、岡田仁院長より挨拶があり、その後、中村新東京病院院長、本郷谷松戸市長、河上県議会議員、柳澤松戸市医師会長より、それぞれご祝辞を頂戴しました。また、千葉県のマスコットキャラクターである「チーバくん」や、チバテレビのご当地ヒーロー「キャプテンC」にも参加してもらい、式典に花を添えました。内覧会（27日～29日）においても医療・介護関係者を中心として地域住民の方々にもご来院いただき、病室、リハビリ室、浴室などの施設やリハビリ機器などの設備を見学して回っていただき、担当職員より詳しい説明をさせていただきました。

職員一同、入院された患者様の社会復帰を支える第一線であることを常に意識し、日々の努力を続けていきたいと存じますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

開催しました!

3月27日開院式典
28日・29日内覧会

当院医師の岡田院長(右)と
四津院長補佐(左)です。

祝 開院 松戸リハビリテーション



ご来賓の新東京病院の中村院長、本郷谷松戸市長、
河上千葉県議会議員、柳澤松戸市医師会会長から
それぞれご挨拶をいただきました(写真は中村院長)。



祝 開院 松戸リハビリテーション病院



スタッフみんなで式典を盛り上げました!!

祝 開院 松戸リハビリテーション病院



看護部の篠原部長より職員紹介



会場外ではもちつきをしたり、
子ども向けの綿菓子などをご用意



会場を盛り上げてくれた千葉県のマスコットキャラクター
「チーバくん」とチバテレビのご当地ヒーロー「キャプテンC」も
開院を祝って、一緒に万歳三唱!

名 部 署 紹 介

医 局

■院長あいさつ

松戸リハビリテーション病院が位置する松戸市は、千葉県で最もリハビリが不足している地域の一つであり、数多くの患者様のお役に立てる病院となることを目指しています。

当院では脳神経外科、心臓血管外科、内科の常勤医に加え、整形外科ほかの非常勤医がそれぞれの専門的な経験を生かした総合的なリハビリテーション診療を行います。脳血管障害、骨折はもちろんのこと、種々の神経疾患や循環器疾患による運動、言語、嚥下、高次脳機能などの障害にお困りの患者様に幅広くリハビリテーションを提供していきたいと考えています。

皆様のご支援とご指導を賜り、地域の医療機関、地域住民の方々のお役に立てるようスタッフ一同、力一杯努力する所存です。



院長 岡田 仁

PROFILE

昭和50年 東北大学医学部卒
昭和50年 東北大学医学部脳神経外科
昭和55年 国立仙台病院 脳神経外科
昭和57年 大分医科大学付属病院 脳神経外科講師
平成2年 大分赤十字病院 脳神経外科部長
平成3年 さいたま赤十字病院
第二脳神経外科部長
平成17年 国立精神・神経センター国府台病院
脳神経外科医長
平成20年 国立国際医療センター国府台病院
手術部長
平成23年 国立国際医療研究センター国府台病院
統括診療部門長



院長補佐 四津 良平

PROFILE

昭和48年 慶應義塾大学医学部卒
昭和48年 慶應義塾大学医学部外科
昭和53年 都立清瀬小児病院(心臓外科)
昭和56年 米国ニューヨーク州立大学胸部外科留学
昭和56年 米国オハイオ州クリーブランドクリニック
人工臓器部研究所へ移動
昭和59年 米国オハイオ州 アクロン大学医学生体
工学部兼任助教授
平成3年 慶應義塾派遣留学
(米国テキサス州 ベイラー大学)
平成5年 慶應義塾大学医学部外科専任講師
平成14年 慶應義塾大学医学部外科教授
平成26年 同上 名誉教授

看 護 部

■看護部あいさつ

看護部は、患者様とその御家族および地域住民に信頼される看護の提供を目指し、看護の質の向上と人材育成のために日々邁進しています。様々な障害に直面した患者様と共に、可能な限りの自立と健康の回復・維持・増進を目指すため、スタッフ一同、力を合わせてサポートしてまいります。



看護部長 篠原 義典
2階病棟(60床) 師長 岩下 由美
3階病棟(60床) 師長 西尾 美紀

総看護職員数
106名

看護師 56名
ケアワーカー 47名
クラーク 3名



リハビリテーション科

■リハビリテーション科あいさつ

当院では、トレーニングマシンや筋力測定機器、運転シミュレーターを取り入れ、定期的な評価をもとに各患者様に合わせたリハビリテーションプログラムを立案していきます。

院内には、シミュレーションルームや屋上リハビリガーデンもあり、シミュレーションルームではご家庭の環境により近づけた訓練を行え、屋上リハビリガーデンでは、歩行訓練や家庭菜園などの趣味活動を行うことができます。それぞれ理学療法士(PT)、作業療法士(OT)、言語聴覚士(ST)といった専門職種がチームとなって質の高いリハビリテーションを提供してまいります。

係長 小河 一彦

リハビリ
スタッフ数
92名

PT 54名
OT 26名
ST 12名



栄養科

■栄養科あいさつ

栄養科では、患者様一人一人に合った食事を提供することで、健康の維持・増進を目指してまいります。患者様に安心、安全でおいしい食事が提供できるように、日々精進してまいります。

栄養科 人員構成

■病院

管理栄養士 2名

■給食委託会社(株)TMS

栄養士 2名

調理師 3名

調理員 14名程度



薬剤科

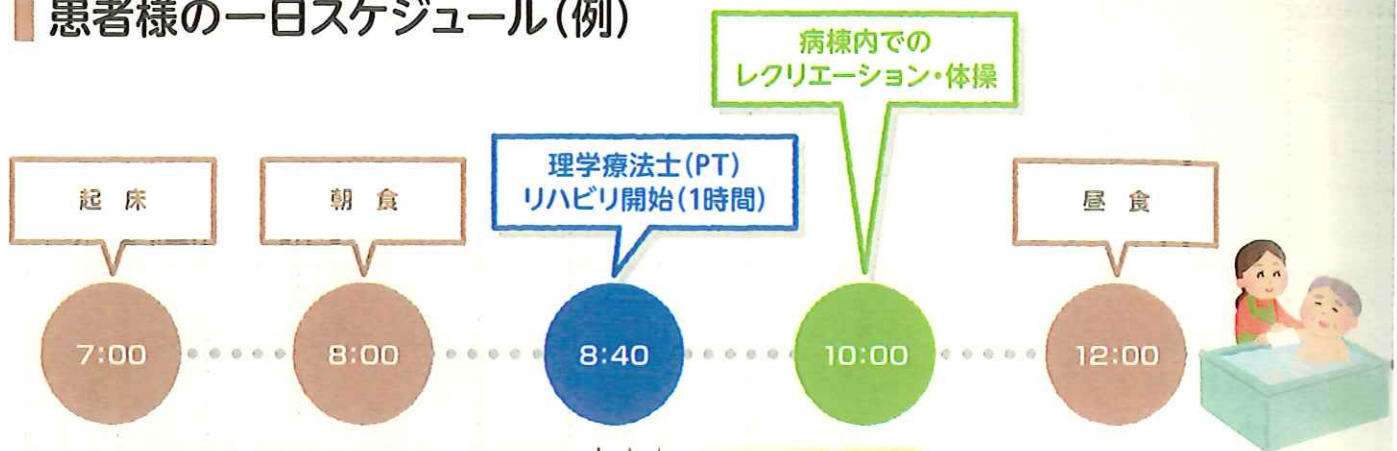
■薬剤科あいさつ

薬剤科では、それぞれの患者様に対し、処方箋で指示された使用法に合うよう、薬を調剤いたします。また飲み合わせ・副作用・量・飲み方などのチェックも行っています。お気軽に声をかけください。



24時間の生活の中でリハビリ

患者様的一天スケジュール(例)



理学療法士(PT)とは

骨折・脳卒中などで身体に障害を負ってしまった方に対し、起き上がり・立ち上がり・歩行などの日常の基本動作の再獲得を目的にリハビリを行います。



言語聴覚士(ST)とは

脳卒中後など、言葉を発する・聞くなどに障害がでた場合に、機能の再獲得を目標にリハビリを行います。また、嚥下(食べ物の飲み込みなど)の機能が低下した方に対しても、リハビリを行っています。

リハビリスタッフが365日毎日途切れることなく個別訓練を行います。「できるADL」ではなく「しているADL」にアプローチしていきます。

※ADLとは?

日常生活動作の事で、食事や排泄、整容、移動、入浴などの基本的な行事を差します。

離床活動

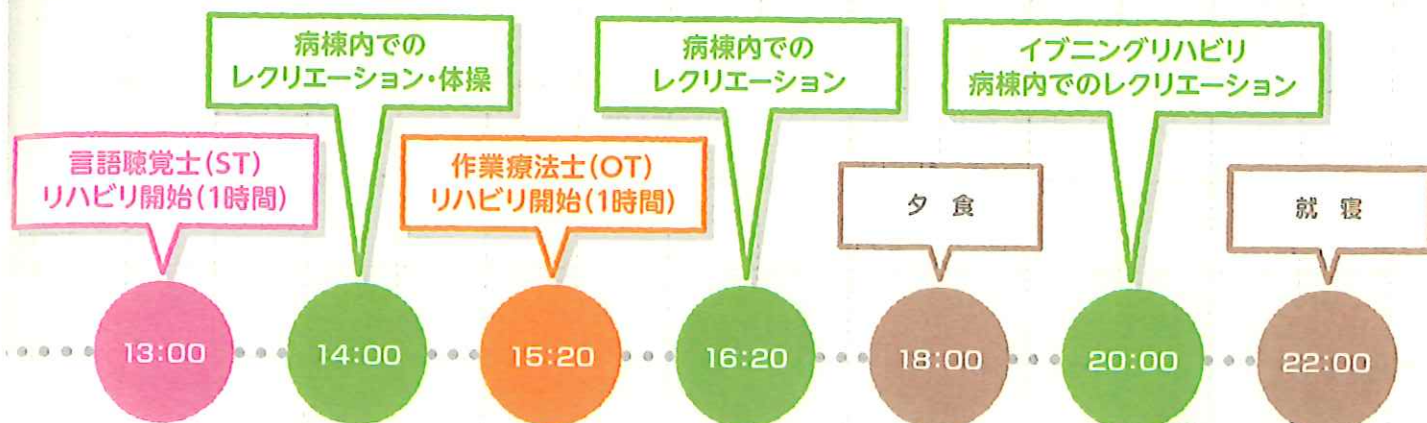
個別訓練に加え、趣味活動や体操など集団訓練を病棟スタッフと協力して行い、起きて生活する習慣をつけていただきます。それにより、帰宅後もベッドから離れて生活することができます。

運動

社会交流

レクリエーションなどの患者様・家族同士の交流を図り、退院後に続く仲間作りを支援していきます。

テーションを行っていきます。



レクリエーションとは

入院中の生活では日中の活動量が低下してしまいます。それを防ぐため、体操を行ったり、様々な物品を使いレクリエーションを行っていきます。また患者様と一緒にカレンダー作り、折り紙などを作っていたりしていきます。

作業療法士(OT)とは

骨折・脳卒中などによって、トイレ動作・入浴動作・着替え・食事時の箸・スプーン等の物品の使用など、日常生活に必要な細かな動作のリハビリを行います。



運転シミュレーター

疾患やケガにより体の動きが不十分になるだけではなく、周囲への危険予測や反応が鈍くなることがあります。運転操作を体験する事で、反応の速さ、正確さ、集中力、判断力を確認する事ができます。



トレーニングマシン

筋力測定を行い、その方に合ったトレーニングを行うことができます。

パソコンにて、実施回数や筋力の変化等のトレーニング効果を記録しておく事ができます。



シミュレーションルーム

退院後の自宅を想定し、玄関・リビング・和室・トイレ・浴室を設置しています。

ご家族様に患者様と一緒に過ごしていただき、介助を体験し介助方法を指導させていただきます。



浴室

安全に入浴できる方法を検討し、練習を行っていきます。患者様に合わせた福祉用具を選定し、動作練習・入浴方法を指導していきます。



医療連携室

私たちは、患者様に安心して入院し、満足して退院していただけるよう、常にていねいな対応を心がけています。

医療連携室の業務内容

医療連携室は、他の医療機関からご紹介いただいた患者様への対応や、患者様に代わっての医療・福祉施設への転院調整、在宅医療・福祉サービス提供事業者との連携などを主な業務としています。

また地域の医療機関との連携を深めていくことで、患者様の入院退院がスムーズに行えるよう日々努力しています。

入退院などについてのご相談

ご入院中の患者様やご家族で、転院や在宅療養、お支払いなどについてご不安や疑問を抱えている方は気軽にお尋ねください。専門の資格（社会福祉士、看護師）を持つ相談員が皆様の不安や悩みを解決できるようサポートいたします。また、医療保険や介護保険、障害福祉など各種制度についてもご不明な点がございましたらお声がけください。

相談窓口（1階受付）

医療連携室の対応時間

9:00～16:30（月～土）

写真左上から順に

中野（看護師）、篠原（看護部長）、安川（MSW）

小山（MSW）、青木（MSW）、佐藤（MSW）

※MSWとは？ 医療相談員（メディカルソーシャルワーカー）です。



電話 047-703-7117(直通) / FAX 047-703-7301(直通)

ホームページのご案内

病院の詳しい内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。

松戸リハビリテーション病院

検索

<http://www.matsudo-reha.com/>



松戸リハビリテーション病院 広報誌



平成26年5月発行



《交通機関》

■松戸駅(京成線・新京成線)車で5分

○松戸新京成バス

・如常堂経由東松戸駅 紙敷車庫行き(松戸駅東口2番のりば 168-169)「東中環前」バス停下車徒歩5分

・工業団地経由東松戸駅 紙敷車庫行き(松戸駅東口2番のりば 162-163)「富士見台」バス停下車徒歩8分

・三矢小台行き、野町野田地行き、新東京病院行き(松戸駅東口1番のりば 161-162)「富士見台」バス停下車徒歩8分

■東松戸駅(北総線・JR武蔵野線)車で5分

○松戸新京成バス

・如常堂経由東松戸駅東口行き(東松戸駅4番のりば 1610)「東中環前」バス停下車徒歩5分

・工業団地経由東松戸駅東口行き(東松戸駅4番のりば 169)「富士見台」バス停下車徒歩8分

企画
発行

松戸リハビリテーション病院
広報委員会

千葉県松戸市和名ヶ谷1009番地の1

TEL: 047-703-1555 / FAX: 047-703-1556